

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価 (就職先の評価、卒業生評価)
小項目	6.4.2 学位授与 (卒業・修了判定) は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策 (院) (専門)

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生による授業評価指標の試行	→学生による授業評価項目の適切性に関する院生会との懇談会実施の有無	A	B	B	B	/
2. 外部審査委員への委嘱件数を過半数以上とする	→外部審査委員への委嘱件数	A	B	B	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教育成果測定のために、研究成果発表会を実施するとともに、授業評価において大学院生による自己評価項目を設定し、目標・指標の再検討を進めている。隔週で行われる大学院生との「ランチミーティング」において、授業内容を含む教育環境全体について院生と懇談している。
目標2	大学院研究科委員会において主査および2名の副査を審議・承認し、掲示にて公開している。また、口頭試問については公開とし、透明性を確保している。特に後期課程については積極的に外部審査委員に委嘱している。
備考	